

# 各学年の実践

## 第1学年

「働くことについて考えよう ～職場見学を通して～」

## 第2学年

「働き続けるために必要な力について考えよう ～自立し、幸せになるために～」

## 第3学年

「自分の進路を考えよう2 ～カラフル困った！さあ、どうする！？～」



写真部

## 第1学年 総合的な探究の時間 授業案

令和7年9月30日（火） 5校時目

場 所：自立活動室

授業者：T1 佐藤真弘      T2 秋山里枝      T3 岡部知子  
          T4 佐藤昇          T5 森千明          T6 佐藤千代子

1 単元名 「働くことについて考えよう」 ～ 職場見学を通して ～

### 2 単元目標

- (1) 実際の会社や福祉事業所の仕組みを知り、働く姿の見学を通して、働く上で大切なことに気付く。 (知)
- (2) 自分が実際の会社で働くことをイメージし、働くときに不安なことや働く上で大事なことを考える。 (思)
- (3) 働く上で大切なことについて、友達と話し合い考えを深め、自分の大事にすることを決めて、実習に意欲的に向かう。 (学)

### 3 単元について

本単元は、働く意義を考え、勤労意欲を高める進路学習単元である。現場実習に向けた準備や職場見学を通し、「実際の会社で働く」ことのイメージをもち、働くときに大切なことや気をつけることなどについて、自分の言葉で自分なりにまとめることをねらいとし設定した。これまでも職業準備講習会や職業の時間等で、働くために必要なことや大事なことをは学習してきた。今回は生徒自身が事前事業所訪問で質問したり、職場見学で働く方の様子を見聞きしたりすることで、働く上で大事なことを体感し、自分事として考えられるようにする。10月の現場実習では、実際の会社で働くことを経験する。学校生活を通して学習を重ねてきたことを実践するときである。それに向けて、「働く」ことを自分事としてとらえ、初めての現場実習への意欲を高めたい、と考えた。

単元の構成として、①2学期の進路学習（職場見学、現場実習）の概要とその目的を知る、②会社と事業所の詳細を知り、働く上で不安に思うことや知りたいことを自分で考える、③実際に見学で分かったことや質問の答えを通し自分でまとめる、④小グループで話し合いを行い考えを深める、⑤実習に向けて大事なことを全体で確認し合い、個人の意欲につなげる、とした。働くことについての質問を考えることは初めてであるので、様子を見て生徒個々の着眼点を把握しながら、称賛したり助言したりしていく。書き表すことが難しい生徒には、夏季休業課題の働くインタビューを振り返ってみよう助言する。話し合い活動は、7月の社会体験学習において経験しており、それを踏まえてお互いに考えを出せるように、教師は仲介役として働きかける。話し合い活動を通し、自分以外の様々な考えを知り、新たな視点を取り入れたり、働く上で大切なことを再確認したりして深められるようにしたい。そして、現場実習への意欲を高めていきたい。

#### 4 授業計画（9.5時間扱い 本時 8.5/9.5）

時数	学習内容	
1	2学期の進路学習について知る	8/28
1	職場見学のねらい、日程等を知る。	9/16
1	見学のポイントを知り質問を考える。	9/16
4	職場見学	9/26
0.5	振り返り	9/26
1	グループごと話し合い	9/30
1	グループごと発表する。	9/30

#### 5 本時の指導

##### （1）目標

- ・職場見学で聞いたことや分かったことをまとめ、自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いた  
りしてグループの仲間と協力して活動に取り組む。 （思）（学）

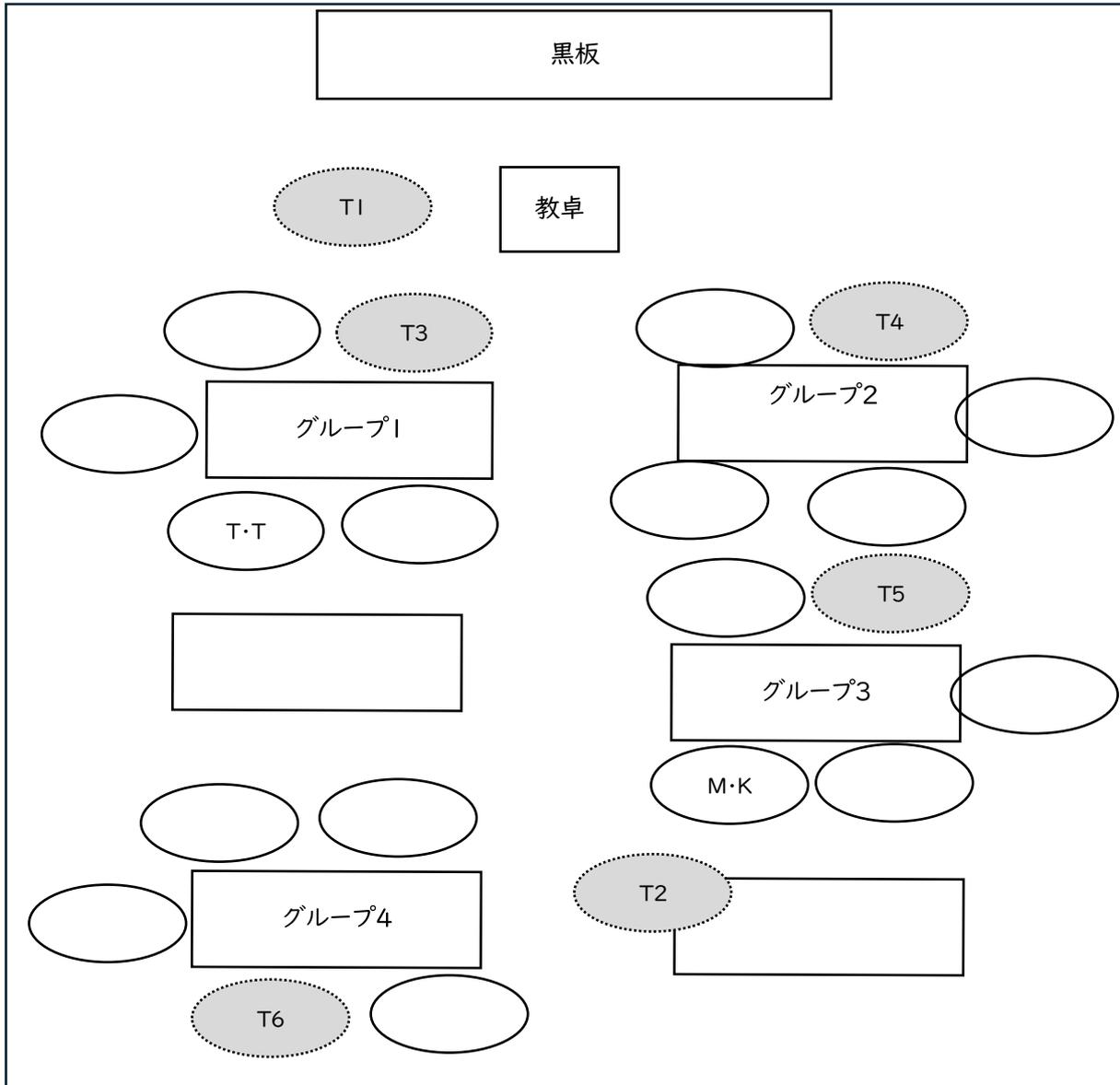
##### （2）本時に関する個別目標と手だて

生徒	本時の個別目標	手だて
T ・ T 男	・自分の考えを友達に伝えたり、 グループの意見をまとめたり して仲間と協力する。	・学習カードに書いたことを友達に発表する場を設ける。 ・グループの意見がまとまりやすいように学習カードの内 容を見るように伝える。 ・必要に応じて、進捗状況を聞く。
M ・ K 男	・自分の考えをまとめ、友達に自 分の意見を伝える。	・学習カードに書く内容を具体的に示す。 ・学習カードに書く内容を選ぶ時間を設ける。 ・自分の考えを友達に伝える場を設定する。

(3) 学習の流れ

時間	学習活動	支援上の留意点（・） 評価（◆）
13:20	1 挨拶をする。	
	2 本時の学習活動を知る。	
13:25	3 グループに分かれて、振り返りプリントの内容を用紙に書く。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           発問1            【自分の意見をまとめて、学習カードに書きましょう】         </div> 〈内容〉 (1) 働く人の様子を見て、感じたこと、思ったこと、気付いたこと。 (2) 見たり、聞いたりして、働くために必要だと思う力。  ・ (1) (2) について学習カードに書く。 ・ 意見が複数ある場合は学習カードを追加して記入する。 ・ グループの人に自分の意見を伝える。 ・ 模造紙に学習カードを置く。	・ グループの用紙を掲示する。  ・ 学習カードに記入することで、自分の考えをまとめ、見学時の様子を思い出せるようにする。 ・ 自分の意見を伝えたり、友達の考えを知ったりする。 ・ 書く内容に迷っていたときは、教師がサポートする。  ◆ 学習カードに自分の考えをまとめて書いているかを評価する。(思) ◆ 友達の意見を見たり聞いたりしているかを評価する。(思)
13:45	4 グループとしての考えをまとめる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           発問2            【グループとしての考えをまとめて、発表する内容を決めましょう。】         </div> ・ 学習カードを模造紙に貼る。 ・ グループ内で相談して、似ている意見や同じ意見はまとめるように貼る。 ・ 発表する内容をペンで囲む。 ・ 発表者を相談して決める。	・ 学習カードのまとめ方に迷っていたときは教師がサポートする。 ・ 発表する内容がまとまるように、似ている意見や同じ意見はないか聞きながら支援する。  ◆ 様々な考えがあることを知り、グループの意見を友達と協力してまとめようとしたか評価する。(主)
14:07	4 次回の学習内容を知る。	・ 次の時間にグループごとに発表することを伝える。
14:10	5 挨拶をする。	

(4) 場の設定 (自立活動室)



## Ⅰ 学年 授業研究のまとめ

9月実施 校内授業研究会

### Ⅰ 視点2の『総合的な探求の時間における「発問」や「学習内容」の工夫』について

#### (1) 成果

##### ①発問

- ・見学をふり返ったことで、気付いたことや感じたことを学習カードに記入することができた。
- ・グループの意見の共通点を話し合い、働くために必要な力をまとめることができた。

##### ②学習内容

- ・学習カードに記入した内容を、グループの友達に伝えることができた。
- ・発表するときの役割を話し合い、自分の役割を果たすことができた。
- ・他グループの発表を真剣に聞き、様々な意見があることを知ることができた。

#### (2) 課題

##### ①発問指示の出し方

- ・発問の意味が分からず戸惑っている様子が見られた。
- ・活動内容の指示が、口頭での説明が多かった。

##### ②話し合い活動の仕方

- ・「似た意見をまとめる」「班の意見としてまとめる」ことが難しかった。
- ・発表するものを1つに絞るのは難しかった。
- ・生徒一人一人自分の考えを出したかった。
- ・1枚のカードに複数の考えが書いてあり、分けることができなかった。
- ・「まとめる」形、ゴールが分からなかった。4グループそれぞれのまとめ方になった。

#### (3) 改善策

##### ①発問指示の出し方

- ・活動内容を具体的に示し、明確な指示をする。
- ・活動時間などの表示をする。
- ・写真や動画を積極的に使う。

##### ②話し合い活動の仕方

- ・「意見を出す→話し合う→まとめる→発表」の学習形態を積み重ねていき自分達でできるようにする。
- ・生徒達でまとめられるように話し合いのルールやまとめの形を作っていく。
- ・「まとめ」の形を事前に教師間で共有する。

## 1 学年 一年間のまとめ

### 1 視点2：総合的な探究の時間の年間指導計画の整理

#### (1) 成果

- ・進路学習の内容を整理しながら、1年間を見通して、「進路の動機づけ」→「働くことについて考える」→「自分の将来について考える」とつながりのある単元配列を考えた。
- ・職業準備講習会や現場実習、全校進路学習と、自分の将来の生活や働くこととを関連付けながら、単元計画を立てた。

#### (2) 課題

- ・総合的な探究の時間の学校全体計画が作成されておらず、3年間の長期的な視点の系統性がみえない。

#### (3) 改善策

- ・学校全体計画を作成し、1年時の学習と2年時の学習の連続性や発展性を明確にする。

### 2 学年での学校研究への取り組み

#### (1) 成果

- ・事前研では、「生徒が自分事として考えられるように」、「生徒個々の考えがしやすいように」という視点を持ちアイデアを出し合い、手立てを講じることができた。
- ・国語科の「話し合い活動」や社会体験学習での「班活動」など他の学習を活かすことができ、生徒が主体的に取り組む姿がみられた。

#### (2) 課題

- ・どの単元においても、授業改善のための話し合いや「発問」「学習内容」の吟味検討を行うことは、難しかった。

#### (3) 改善策

- ・各単元前に、ねらいや学習計画を共通理解し、生徒自身が気づき考え行動するための学習内容や手立てについて話し合う時間を設ける。

### 3 考察

- ・進路学習を核とした総合的な探究の時間の学習はどうあればよいか、生徒自身の課題意識をどう持たせるか改めて考えることができた。学習形態やテーマ学習など様々な学習方法を模索していく必要があると思われる。
- ・3年間の進路学習を積み上げることで、「自ら気づき考え行動する」姿勢が育ち、社会自立につながると思われる。

# 研究だより

令和7年10月29日

No. 3

発行：鶴岡高等養護学校  
研究推進委員会

## 1 学年 総合的な探究の時間 「自分の進路を考えよう」

の取り組み

### 1 今年度の年間指導計画

月	単元名	ねらい
4月	・1年間の進路学習	鶴高養で学ぶ意味を考える。 1年間の学習内容を知り、見通しをもつ。
	・職業準備講習会(全校学習)	働く人の生活を知り、働くために必要なことを学ぶ。
夏季休業	・「働くこと」インタビュー	
8月	・2学期の進路学習	2学期の学習内容を知り、見通しをもつ。
9月	・働くことについて考えよう (職場見学を通して)	会社で働く人の様子を見学したり、職場の方の話を聞いたりして、働く上で大切なことは何かを学ぶ。
1月	・将来の生活を考えよう (進路面談に向けて)	卒業後の働き方や就労先の種類、特徴について知り、将来の働く生活をイメージし自分の働き方を考える。
2月	・「先輩に学ぼう」(全校進路学習)	就労する上で心配なことや知りたいことの質問を考える。

1年間をかけて、生徒が自分の将来の生活をイメージし、自分の目指す方向を自分なりの言葉で表現できるようにします。1学期は働くための基礎や知識を得る時期、2学期は実際の体験を通し働くことを自分事として捉えられるようにする時期、3学期は、自分の将来の生活や働く姿を思い描く時期、と段階的に進めています。

### 2 研究授業実践 「働くことについて考えよう～職場見学を通して～」

#### (1)めざす生徒の姿の共有

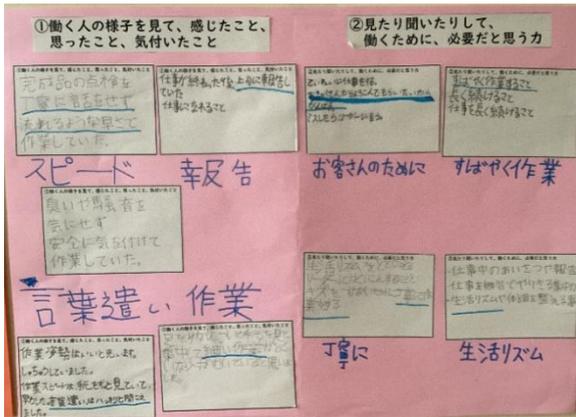
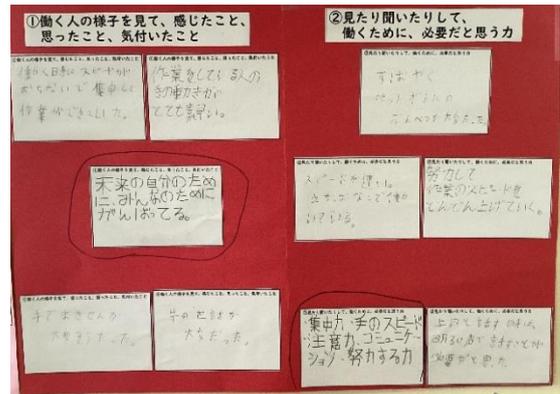
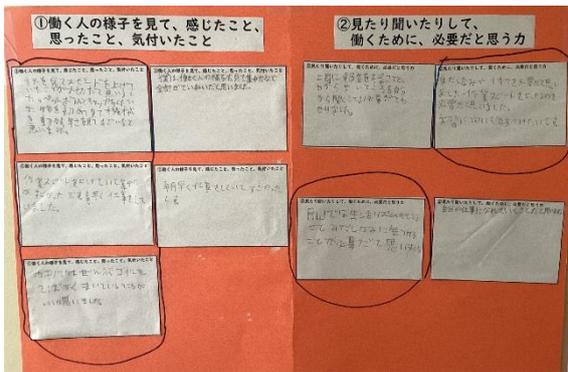
1学年では、研究主題にある「自ら気づき、考えて行動する生徒の育成」を考えたとき、今の段階でどこまで目指すかを話し合いました。“何に”気づいてほしいか、“何を”考えてほしいか、そして現場実習につなげられるように、様々な意見が交わされ、1年生としては、自分で気づいたこと考えたことを自分の言葉で表す姿を目指すことにしました。

#### (2)学習内容の工夫や手立て

- ①働く姿から大切なことに気づけるように、見学の視点を事前学習で示した。
- ②学習カードに書き、出し合うことで、共通点や新たな視点に気づけるようにした。
- ③話し合いを小グループ(4人)にし、考えを伝えたり聞いたり、話しやすいようにした。
- ④模造紙に貼ることで、グループひとり一人の意見や考えを見やすいようにした。

#### (3)実際の姿

- ①見学をして、気付いたことや感じたことを学習カードに記入することができた。
- ②学習カードに記入した内容を、グループの友達に伝えることができた。
- ③グループの意見の共通点を話し合い、働くために必要な力をまとめることができた。
- ④発表するときの役割を話し合い、自分の役割を果たすことができた。
- ⑤他グループの発表を真剣に聞き、様々な意見があることを知ることができた。



(4)成果と課題 (事後研で話し合われたこと)

- 学習に取り組む姿勢…感想カードがあるので、目的意識をもって参加していた。  
一人一人考えて自分の言葉で書いていた。
- 話し合いの姿 …小グループ4名構成は意見を出しやすくよかった。グループ内で意見の共有ができていた。
- 教具の工夫・効果 …カードをやり取りすることで、同じものを探したり他の人の意見を見たり、自分たちで気づけた。

▲発問指示の出し方

- …発問の意味が分からず戸惑っている様子が見られた。やることが口頭の指示だけだった。
- ➡やることや時間などの表示。具体的で明確な指示をする。写真や動画を積極的に使う。

▲話し合い活動の仕方

- …「似た意見をまとめる」「班の意見としてまとめる」ことが難しい。発表するものを1つに絞るのは難しかった。生徒一人一人自分の考えを出したかった。
- 1枚のカードに複数の考えが書いてあり、分けることができなかった。
- 「まとめる」形、ゴールが分からなかった。4グループそれぞれのまとめ方になった。
- ➡「意見を出す→話し合う→まとめる→発表」の学習形態を積み重ねていき自分達でできるようにする。生徒達でまとめられるように話し合いのルールやまとめの形を作っていく。「まとめ」の形を事前に教師間で共有する。

3 今後に向けて

今回の学習内容「職場見学」における、『質問を考える→見聞きする→自分の考えを書く』ことを通し、働くことを自分ごととして捉える姿が見られました。また、話し合い活動を通し、自分たちで気づき、自分たちの言葉で伝える姿が見られました。「自ら気づき、考えて行動する」ことは社会生活に不可欠です。そのための支援手立ての在り方を検討しながら、総合的な探究の時間「自分の進路を考えよう」の目標である、生徒自身が自分の将来の生活を思い描けるように、学年全体で授業づくりを積み重ねていきたいと思ひます。

第1学年 生単、総合、特別活動、各教科の年間指導計画一覧表 ～教科等横断的な視点を大切にして～

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
主な行事・学習活動等 R8.1.19現在		新任式・始業式・入学式(10) 生活安全教室Ⅰ(11) 生活安全教室Ⅱ(14) 新入生を迎える会(17) 課程訓練(22) 職業準備講習会(29)	教育相談(13～30) 職高春大運動会(17) 3年求職受理相談(26) 2年職場見学(30)	3年実習決意式(6) 3年前期実習(9～27) 1,2年実習決意式(13) 1年内実習、2年前期実習(16～27)	生活安全教室Ⅲ(11) 3年内実習授業研 研修レク(15) 1年社会体験学習 3年社会人セミナーⅡ(22) 終業式(25)	始業式(26)	1年内校内授業研(16) 1年職場見学(26) 防災訓練(19) 奉仕活動(30)
	生単	運動会をしよう	小遣い帳の使い方をしよう	働く力をつけよう (校内実習) 事前学習	働く力をつけよう (校内実習) 事後学習	鶴岡の文化・歴史をしよう (社会体験学習)	働く力を高めよう (職場実習) 事前学習
総合		自分の進路を考えようⅠ (職業準備講習会)					働くことについて考えよう (職場見学)
国語		回書室の利用方法を知ろう 一年生の学習を知ろう 使える漢字を増やそう① 自己紹介をしよう	相手にわかりやすく伝えよう(自己紹介) テーマに沿って表現しようⅠ (運動会の作文) 情報を整理しようⅠ	情報を整理しようⅠ 歌謡を知ろう	物語を読もうⅠ 読書週間(10分間読書) 目的に応じて書こうⅠ (書中見聞)	書ける漢字を増やそうⅠ	話し合いをしよう 情報を整理しようⅡ
数学		オリエンテーション (実務把握)	整数の表し方を 知ろう 因数で表そう	表とグラフにまとめよう	表とグラフに向けて 前期テストにまとめよう		表とグラフにまとめよう
音楽		表現を楽しもう(歌唱・身体表現)					心を合わせて演奏しよう (歌唱・器楽・創作)
美術		《デザイン》 色彩と濃淡	《絵画・デザイン》 抽象画を描こう				《デザイン》 ポスターを描こう
保健体育		オリエンテーション 体づくり運動	運動会練習をしよう 記録を測定しよう (陸上競技)	新体力テストをしよう (体づくり運動) 記録を測定しよう (長距離走)	キックベースボールをしよう (球技①:ベースボール型) 体力とは何だろう (体育理論)	自分の体を知ろう (保健:心身の発達・発育と心の健 康)	サッカーをしよう (球技②:ゴール型)
	農業 野菜G	農芸組の仕事を知ろう 夏野菜を育てようⅠ	夏野菜の植え付けをしよう(庄内農業 高校へ苗の購入) 夏野菜を育てようⅡ	働く力をつけよう(校内実習) 夏野菜の管理をしよう 夏野菜を収穫しよう	夏野菜の納品と販売をしよう ※夏季休業中に青空販売	畑の片付けと秋野菜の種まき、植え付けをしよう	
職業	農芸 草花G	農芸組の仕事を知ろう 夏の花を育てようⅠ 夏の花を育てようⅡ	夏の花を育てようⅡ	夏の花を育てようⅡ 働く力をつけよう(校内実習)	夏の花を販売しよう ※夏季休業中に青空販売	秋の花を育てようⅠ	
	家庭	1年間を見通そう 季節に応じた服装をしよう	基礎の縫い方をしよう	基本的な洗濯の手順を覚えよう	基本的な洗濯の手順を覚えよう 食事の役割を考えよう 調理をしよう①	調理をしよう②	快適な住まいを考えよう

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な行事・学習活動等 ① R7.1.10現在	3年実習決着式(3) 3年後期実習(6~24) 1,2年実習決着式(8) 1,2年後期実習(9~24)	2年内校内授業研 鶴高養老(29)	教育相談(2~19) 選考学習(4) 生活安全教室Ⅳ(16) 終業式(25)	始業式(8) 3年相模学習(16) 1年職業体験見学(16,23) 2年社会人セミナー(21) 3年社会人セミナーⅢ(22) 生徒会役員選挙(27)	生徒総会(2) 全校進路学習(10) 3年生を送る会(26)	3年社会人セミナーⅣ(3) 卒業式(12) 修了式(13)
生専	働く力を高めよう (現場実習) 事前学習、事後学習	学年発表を創り上げよう (鶴高養老)	収穫感謝祭を創り上げよう 選考学習 生活安全教室Ⅴ (消費者教育)	自分について考えよう		
総合				自分の進路を考えよう3 (進路面談に向けて)	自分の進路を考えよう4 (全校進路学習「先輩に学ぼう」)	
国語	情報を整理しよう2 物語を読もう2	物語を読もう2	テーマに沿って表現しよう2 (鶴高養老の作文) 目的に応じて書くこと2 (恩師への年賀状)	書ける漢字を増やそう2 読書週間(10分間読書) 俳句に親しもう	俳句に親しもう 正確に読み取ろう	慣用句を知らう
数学	二つの数量の関係を表そう (比例)		平面図形について知ろう		小数のしくみについて知ろう	
音楽	心を合わせて演奏しよう(歌唱・器楽・創作)					
美術	《デザイン》 ガスターを描こう					
保健体育	陸上競技 バドミントンをしよう (球技③:ネット型)	バドミントンをしよう (球技③:ネット型) 剣道をしよう(武道)	自分の運動課題を考えよう (体育理論)	自分の運動課題を考えよう (体育理論) リズムに合わせて踊ろう (ダンス)	リズムに合わせて踊ろう (ダンス) バスケットボールをしよう (球技④:ゴール型)	卓球をしよう (球技④:ネット型)
農業 野菜G	働く力を高めよう(現場実習) 秋野菜の管理をしよう	秋野菜の収穫、製品化について学ぼう (庄農高との交流学習) 秋野菜の収穫、製品化、販売をしよう	バザーで販売しよう 清掃の仕事を引き継ごう ②清掃・福祉班と共に活動する。 収穫感謝祭をしよう	バザーで販売しよう 清掃の仕事を引き継ごう ②清掃・福祉班と共に活動する。 収穫感謝祭をしよう	校内清掃に取り組もう 職業科バザーをしよう (販売・購入研修)	校内清掃に取り組もう 職業科バザーをしよう (販売・購入研修)
	働く力を高めよう(現場実習) 秋の花を育てよう2	秋野菜の収穫、製品化について学ぼう (庄農高との交流学習) 秋の花を育てよう バザーで販売しよう	バザーで販売しよう 清掃の仕事を引き継ごう ②清掃・福祉班と共に活動する。 収穫感謝祭をしよう	校内清掃に取り組もう 職業科バザーをしよう (販売・購入研修)	校内清掃に取り組もう 職業科バザーをしよう (販売・購入研修)	校内清掃に取り組もう 卒業式に向けて準備しよう
家庭	調理(汁物)を作ろう	ミンチ焼いししよう		家庭生活について考えよう	計画的な消費	自分の好きなことをみつけよう

## 第2学年 総合的な探究の時間 授業案

令和7年11月6日（木）4校時目

場 所：図書室

授業者：T1 押井周平 T2 皆川洋乃 T3 佐藤亜紀 T4 佐藤浩美 T5 伊藤剛 T6 齋藤恵  
T7 日向加代 T8 齋藤美穂

1 単元名 「働き続けるために必要な力について考えよう～自立し、幸せになるために～」

### 2 単元目標

- (1) 働き続けるために必要な力に関わる自分の課題を解決するために、様々な人の意見や考え方を聞いて必要な知識を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 自分の課題を解決するための情報を集め、自分に合った解決方法を考えたり、話し合ったりしたことを発表する。(思考力・判断力・表現力等)
- (3) 自ら設定した課題の解決に主体的に取り組み、学んだことを生かして、働き続ける力をさらに高めていこうとする。(学びに向かう力・人間性等)

### 3 単元について

2年生は、後期現場実習を終えて、3年生への進級を控えている時期である。本単元では、先日行われた後期現場実習の経験を踏まえ、今後、自分にとっての働く意味や働き続けるために必要な力は何かという課題を考えることから学習を始める。その後、課題を解決するために、社会人の先輩方にその課題の解決方法や乗り越える方法を教えていただき、学んだことについて話し合う中で深めながら、それらを自分たちの言葉でまとめ、発表する学習を行う。生徒たちは、これまでの現場実習や職業準備講習会、職場見学などを通して「働く」ことについて学習してきた。普段の生活からは、社会に出ていくことへの意欲や緊張感が高まっている様子が様々な場面で見られる。単元を通して自分が将来、自立して幸せになるために必要な力や大事なことについて、間近に迫った課題として真剣に向き合えるようにしたい。単元の前半では、車いす生活になりながらポジティブに生きる人や本校卒業10年目の先輩、サポートセンターかでの職員、家族など、人生の先輩方に普段の生活や考え方などについて聞き、就労後の生活にポジティブなイメージをもち、主体的に、前向きに自分の課題と向き合えるようにする。単元の後半は、将来の不安や期待といった様々な思い、また、自分の課題に関する質問をしたり、学んだことをまとめたり、発表したりする過程を通じて探究することの楽しさや、課題解決方法を見つけることの達成感を味わえるようにしたい。「自分の課題」を改善する具体的な方法を見つけ、成長していこうとする意欲を育てたい。

本単元の構成としては、実習を振り返り、課題を明確にし、将来自立して幸せになるために人生の先輩方に働き続けるための力やポジティブに生きる力を付けるヒントを教えていただく。そして、話し合うことで自分の考えを深めたり、大事なことをグループで共有したりする。生徒それぞれの主な課題を明確にして「仕事」「生活」「余暇」の3つのグループに分かれて、それぞれの話し合う内容を焦点化して学習に取り組む。

#### 4 授業計画（10時間扱い 本時9/10）

時数	学習内容	日付
2	実習の振り返りから自分の課題（働き続けるために必要な力）を見つけ、みんなで出し合う。	10/27 (月)
1	「人生の先輩に学ぼうⅠ～ポジティブに生きる方法～」 渋谷真子さんの講話を聴き、質問を行う。	10/28 (火)
1	・実習の振り返りや渋谷さんの講話を踏まえて、自分が働き続けるために必要な力を考える。 ・卒業後10年目の先輩に質問する準備を行う。	10/29 (水)
2	「人生の先輩に学ぼうⅡ」 ・かでの梅木博太さんや卒業生の講話を聴き、質問する。 ・週末の課題として家族（親・兄弟姉妹など）に質問する。	10/31 (金)
2	「働き続けるために必要な力～自立し、幸せになるために～」について考えたこと、気づいたことをポスターにまとめる。	11/4 (火)
1	将来働き続けるために今の自分にとって必要なことについてそれぞれが考え、グループでまとめたことを発表し合い、お互いに質問したり感想を述べたりする。	11/6 (木)
1	・進路面談の準備をする ・学習でまとめたことを基にして学習シートに記入する。	11/7 (金)

#### 5 本時の指導

##### (1) 目標

- ・得られた情報や、自分で考えたり、話し合ったりしたことをまとめた資料を使い、課題を解決するための方法について発表する。（思）
- ・仲間の発表を聞いて自分に役立つと考えられることをメモしたり、感想を述べたりし、働き続ける力を付けるために生かそうとする。（学）

##### (2) 本時の個別目標

生徒	本時の個別目標	手だて
S・Y男	・ポスターにまとめた内容を仲間にわかるように発表する。（思） ・仲間の発表を聞いて考えたことや感想を自分から述べる。（学）	・発表で担当する部分の提示の仕方を事前に決め、話す原稿を準備する。 ・考えたことや感想を記入する学習シートを用意する。
N・M女	・ポスターを使って、全体に聞こえる声ではっきりと発表する。（思） ・仲間の発表を聞いて、自分に役立つと考えたことをメモしたり、学習シートにまとめる。（学）	・事前に、全体に聞こえる声の大きさを確認し、発表練習をする。 ・メモしたり、最後にまとめるための学習シートを用意し、仲間の良い意見はすぐメモしておくように言葉掛けをする。

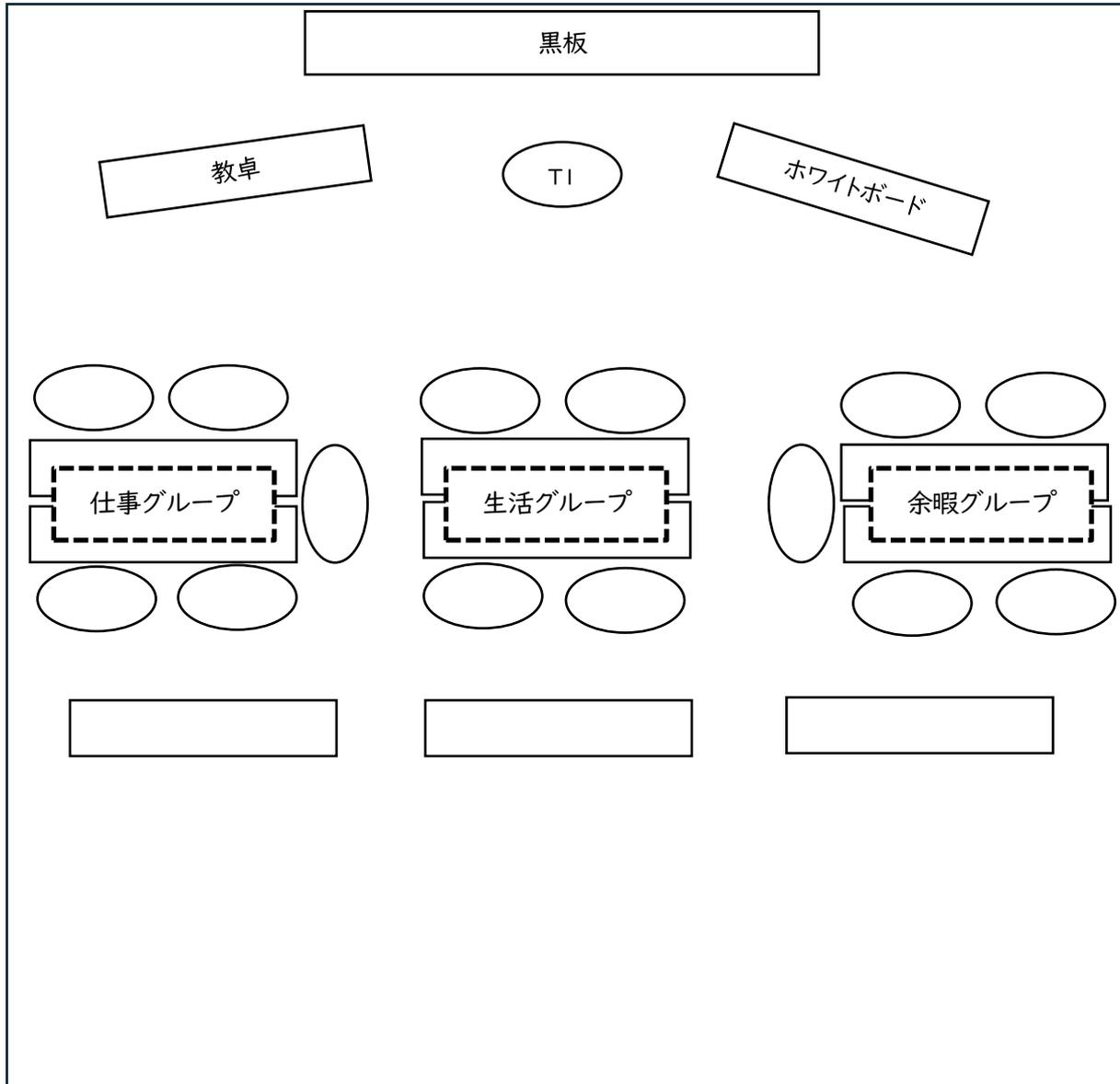
I ・ R 男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター資料を使い、仲間に伝えるように発表する。(思)</li> <li>・仲間の発表を聞いて自分に役立つと考えられることをメモしたり、感想を述べたりする。(学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間に伝えられるように、声の大きさなどを意識して発表できるように言葉掛けする。</li> <li>・聞いたことをメモしやすいように、学習シート用意する。</li> </ul>
------------------	--	---

### (3) 学習の流れ

時間	学習活動	支援上の留意点(・) 評価(◆)
11:45	1 あいさつをする。	
	2 本時の学習活動を知る。	・本時の学習計画を予め板書しておく。
11:50	3 発表の仕方や聞き方について知る。	
	発問1【作成したポスターを使って、仲間にわかりやすく発表しましょう。】 発問2【働き続けるために必要な力についてどんなことが分かったのかや、他のグループの発表を聞いて自分にも生かしたいと思ったことを授業の終わりに発表しましょう。】	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がまとめた資料や発表だけでなく、他のグループの発表を聞き、自分が探究しなかった他の分野に対しても視野を広げ、自分に生かそうとする気持ちは作る。</li> <li>・聞いたことをメモしやすい学習シート用意する。</li> </ul>
11:55	4 グループごとに発表準備をする。 前回作成したポスターの調整と発表練習を行う。	・発表時のポイントとして「仲間に聞こえる声で、ゆっくり、はっきり話すこと」を基準にして練習前にアドバイスをする。
12:00	5 グループごとに発表する。 「仕事」「生活」「余暇」 (各グループ約8分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターを使って発表する。</li> <li>・他グループの発表を聞きながら、自分に必要と思ったことはメモする。</li> <li>・発表後、聞きたいこと等あれば質問をする。</li> </ul>	◆発表内容を仲間にわかりやすく伝えることができたかを評価する。[思] ◆自分に役立つと考えられる情報をメモできているか学習シートから評価する。[主]
12:24	6 まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の発表や他グループの発表を聞いてメモしたことなどから自分が今後、頑張っていきたいことや意識していくことを学習シートにまとめる。</li> <li>・学習シートにまとめたことを発表する。</li> </ul>	◆自分に役立つと思ったことなどについて感想を学習シートに記入したり、発表したりしたかを評価する。[主]

12:34	7 次回の学習内容の確認をする。	・次回の学習内容については口頭で説明する。
12:35	8 あいさつをする。	

(4) 場の設定 (図書室)



## 2 学年 授業研究のまとめ

11月実施 校内授業研究会

### I 視点Iの『総合的な探究の時間』における「発問」や「学習内容」の工夫について

#### (1) 成果

##### ①発問について

- ・単元を通して、「働き続けるために必要な力」という一貫したテーマに基づいた学習を行い、生徒は真剣に探究し、学びを積み重ねた。一連の学習の展開やつながりを大事にして前時の活動からつながるように発問を行うことで、生徒はやることを理解して主体的に活動に取り組んだ。
- ・学習の過程で、生徒が活動し思考を重ねてきたことを踏まえて発問を投げかけた。発問を受けて生徒は、単に発表をしたり、メモを取ったりするのではなく、自分は何をどう伝えたいのか、自分にとって大事なことは何かを考え、工夫して発表に臨んだり、必要な言葉を選んでメモに書き留めたりした。

##### ②学習内容について

- ・実習を振り返り、自分の課題（働き続けるために必要な力）を見つけ、課題解決のために、人生の先輩（様々な立場で活躍している社会人の方）の体験談や考え方をヒントにして、自分の生活や今後の取り組みについて探っていく、という構成にした。単元を通して、生徒は、今の自分の在り方が直近の将来につながることを、より現実味をもって捉え、自分事として考え、まとめ、発表するなどして主体的に活動に取り組んだ。
- ・生徒は、自分で気づき考えたことや、得られた多くの情報から、最終的に、自分にとって今一番必要なことは何かを突き詰めて考え、自分なりの答えを出すことができた。
- ・学習でまとめた内容を、進路面談に向けた準備（自分の考えを伝えるための資料）に生かし、各自、面談に臨むことができた。

#### (2) 課題

- ・個々の課題と解決策について、今後どのように行動化し実行できるかが大事である。
- ・発表することに正解、不正解はないので、生徒の多様な考えを取り上げながら、他人の考えを理解、尊重する姿勢を価値づけていくことも必要である。
- ・探究について、問題提示から振り返りまでの過程一つ一つをより丁寧に行えるとよい。

#### (3) 改善策

- ・個々の課題について、目標を細分化し具体的な項目、手立てを用意して生徒が取り組むための支援指導を行う。
- ・授業では、T Iとグループ担当の教師とで生徒の記述や発言に留意しながら、多くの生徒から多様な考え、意見が出されるように働きかける。
- ・活動一つ一つが充実するような時間配分や内容、方法を工夫し単元計画を立てる。

## 2 学年 一年間のまとめ

### 1 視点2：総合的な探究の時間の年間指導計画の整理

#### (1) 成果

- ・本校では、就労を目指す教育課程に重点を置いていることから、今年度から総合的な探究の時間の学習内容を、全学年が進路学習とし、単元名を「自分の進路を考えよう」と統一した。2学年の年間指導計画や単元計画は、1年次に学習した内容を生かしつつ、3年次の学習内容につながるように作成することができた。
- ・1年間の行事や、他教科、生活単元学習とのつながりを考えて単元配列を行ったことで、生徒は身近な生活に絡めて課題を設定し、自分事として探究に取り組むことができていた。
- ・生徒は、最初の単元「自分の進路を考えようⅠ（職業準備講習会）」で学んだことを次の単元に生かし、また、そこで学んだことをその次の単元に生かすというように、学習活動を発展的に繰り返し、自分の進路に対する考えを深めることができるようになった。

#### (2) 課題

- ・各単元において、探究のプロセスを支える、「探究の見方・考え方」について、学年の教師間で深く話し合う時間を十分に持つことができなかった。

#### (3) 改善策

- ・探究の見方・考え方を働かせるとは、実社会・実生活の課題について、①各教科の特質に応じた見方・考え方を総合的・統一的に活用することと、②多様な角度から俯瞰して捉え、自己の在り方・生き方を問い続けるということである。①については、職業に係る見方・考え方や言葉による見方・考え方などを働かせられるような発問や個に応じた補助発問などについて、②については、多様な角度から俯瞰して捉え、自己の在り方・生き方を問い続けるとは、具体的にどのような姿をいうのかということについて、意見を出し合い、十分に話し合って教師間で共有して授業づくりを行う。

### 2 学年での学校研究への取り組み

#### (1) 成果

- ・本単元における自ら気づき考えて行動する生徒のイメージを次のように共有し、取り組むことができた。①実習の振り返りを通して自分の課題に気づく。②様々な人の意見を聞いて必要な知識や考え方を学ぶ。③自分に合った解決方法を考えたり友達と話し合っ  
て考えを深めたりする。④課題解決のために取り組むことを決めて、みんなの前で発表し実践する。
- ・生徒は、自分の課題を見つける過程において、現場実習での課題を整理することで、改善したいことを明確にし、それぞれの課題を具体的に設定することができていた。また、職業準備性ピラミッドを活用することで、自分では発見できなかった課題を視覚的に分析し、教師と共有することができた。
- ・情報を収集する過程において、「地域資源を活用する教育活動」を生かすことができた。  
障がいを抱えながら活躍している人、長く働き続けている本校卒業生、障害者就業・生

活支援センターの職員の方への質問などの活動を通して、生徒はより実践的に情報を収集し、生徒同士の関わりの中だけでは見出せない新たな視点を知ることができた。教師にとっても、本物に触れ、専門的な知識を学びながら協働して授業づくりをすることができ、貴重な機会となった

- ・まとめ、発表する過程において、グループごとにポスターを作成して、友達の前で発表する時間を設けたことで、生徒は、自分の決意を新たにしたり、他の班の発表を聞いて自分の生活に生かそうとしたりすることができていた。

## (2) 課題

- ・課題を解決する過程について、生徒同士が話し合う時間が足りず、急遽、国語の授業の中で行うこととした。
- ・研究授業において、主発問については教師間で共有して取り組んだが、生徒一人一人に応じた補助発問などの手立てについて、十分に話し合うことができなかった。

## (3) 改善策

- ・単元計画を立てる段階で、カリキュラム・マネジメントの視点を取り入れ、生徒同士の話し合いの時間を国語の「話し合いをしよう」の授業と関連させて考える。
- ・生徒一人一人に応じた補助発問などの手立てについて、少なくとも担当する班の生徒については、教師間で話し合い共有する時間を確実に設ける。

## 3 考察

総合的な探究の時間の授業実践を通して、今後授業づくりを行う上で大切にしたいことを以下に3つあげる。

一つ目は、自ら課題を見つける過程を大事にすること。2学年の生徒は、将来の進路を現実的に考え始めている時期である。後期現場実習の事後学習では、実習の様子を振り返りながら自分の課題を具体的に考えることができた。自分の経験から湧き上がってくる疑問や関心に基づいて課題を見つけることは、課題解決への大きなモチベーションとなり、その後の情報収集や整理・分析、まとめることへの意欲や深い学びにつながっていくと考える。

二つ目は、生徒が「探究的な見方・考え方」を働かせるための手立てとして、研修会で山形大学教授の野口徹先生に教えていただいたことを実践すること。野口先生からは、生徒が自分で見つけた課題について、まず自身が知っていることを挙げさせた後、専門家などの知識や意見を紹介することで、生徒は、まだ自分に知らないことがあることに気づき、その知らないことをもっと調べて深く考えようとするのお話があった。

三つ目は、課題解決に向けて生徒が取り組む過程においては、自立活動の指導と関連づけて支援していくこと。研究授業で行った「働き続けるために必要な力について考えよう」の単元では、生徒が自ら見つけた課題として、体調管理や気持ちのコントロール、人間関係、体力づくり、コミュニケーションなどがあり、自立活動の項目に関する内容が多かった。生徒が自分の特性を理解し、社会自立をめざして取り組んでいくことと、働き続けるために必要な力をつけることを、相互に関連付けて一人一人に合った手立てを考えていきたい。

# 研究だより

令和7年11月25日

No. 4

発行：鶴岡高等養護学校  
研究推進委員会

## 2学年 「働き続けるために必要な力について考えよう ～自立し、幸せになるために～」の取り組み

### 1 目指す生徒の姿と単元設定

研究学年会では、後期現場実習を終えた2年生のこの時期、単元を設定するにあたり、現場実習の経験を踏まえて、「自分の進路について」、また「働き続けるために必要な力は何か」を真剣に考える機会にしたいと話しました。

そこで、目指す生徒の姿を、①実習を振り返り自分の課題に気づく、②様々な人の意見や考え方を聞いて必要な知識を身につける、③自分に合った解決方法を考えたり話し合ったりして発表する、④課題解決のために働き続ける力をさらに高めていこうとすること、と共有しました。

### 2 学習内容や手立ての工夫

#### (1) 「探究とは何か」を生徒に伝える

探究することの楽しさや課題解決方法を見つけることへの達成感が味わえるようにしたいとの願いから、「探究とは何か」について、単元の導入で「①自分で課題を見つけ、②解決する方法を調べ、③調べたことをもとにして考え、④まとめる。⇒そして自分の新たな課題を見つけ解決策を考えることを続けていく」ことであると確認しました。

#### (2) 「人生の先輩」から学ぶ機会を設ける

課題を解決する方法を調べて考える過程では、『自立し、幸せになるために』『働き続ける力をつける』ことにポジティブに向き合ってほしいと考えました。「人生の先輩に学ぼう」と題して、「地域資源を活かした教育活動事業」を活用して3人のゲストから来校いただいて話をうかがったり、家族にインタビューしたりする学習を設定しました。

- ① 鶴岡ふるさと観光大使をなさっている車いす YouTuber の渋谷真子さんから、お話をうかがいました。



#### 〈渋谷真子さんからいただいたアドバイス〉

言葉で伝えないと自分の思いは伝わらない	楽しくできるかどうかは自分次第
ナルシストでもいい、もっと自分を好きになってほしい	大切な人を悲しませたくない（車いすでも楽しんでいるところを見てほしい!）
誰かに頼れる勇気をつくる	「できない」ではなく、やるか、やらないか
相談・共感できる仲間の大切さ	失敗を自分の成長につなげる
妥協した選択は良い結果につながらない	今考えて解決できないことを今は考えない

### 〈生徒の感想から〉

- ・大げがをしても、真子さんはどうすれば幸せで楽しい生活ができるかを考え、充実したポジティブな生活を送れていることがすごいと思いました。
- ・自分も、なんにでも挑戦しているんな経験をする人になりたいです。
- ・前向きな自分になりたいです。
- ・仲間を大切に、一緒に幸せな生活をしていきたいです。



- ① 一般企業に約10年お勤めの本校卒業生の方と、「庄内障害者就業・生活支援センターサポートセンターかでの」の職員の方からお話をうかがいました。その後、生徒からの質問にお答えいただきました。



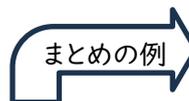
### 〈生徒の質問と教えていただいたことの中から〉

- Q. 仕事でミスを繰り返さないためには、どうすればよいですか？  
A. メモをとって見返す。わからない時にはもう一度質問する。職場の方から見てもらうなどダブルチェックをする。
- Q. 体調を崩さず、健康でいるために気をつけていることはありますか？  
A. 三食しっかり食べる。睡眠時間もしっかりとる（8時間がベスト）。休日の過ごし方も大事。スマホだけでなく、外で自然に触れたり好きなことをして気分転換をする。
- Q. 上手なお金の使い方を教えてください。  
A. 一か月に何にどれくらい使うか決める。残りは貯金する。通帳から決めた額しかおろさないようにする。通帳に何に使ったかメモをする。
- Q. 職場の人に苦手な人がいる時にはどんな対応をすればよいですか。  
A. 苦手な人は必ずいる。無理に話そうと気を遣わず、自分の好きな人から輪を広げて。

### (3) 同じ課題を持つグループで話し合う

生徒たちは、自分の課題の中でさらに調べ深めたいと考えたことについて、「仕事」「生活」「余暇」の3つのグループに分かれて話し合いを行いました。大判用紙に、付箋を活用して、「自分の課題」→「人生の先輩から学んだ解決方法や友達からのアドバイス」→「それらから考えて自分で決めた解決方法」をまとめました。

本時の授業では、グループごとに発表をし、友達の発表を熱心にメモする姿が見られました。



#### 〈発表に使ったポスター〉



生活グループ

#### 【Aさんの例】

- 働き続けるために今の私に一番必要な力 (生活面: 金銭管理)
  - ・無駄遣いしない
  - ・貯金の仕方を知る
- 今の私に一番必要な力をつけるためのアドバイス
  - ・お小遣い帳をつける
  - ・使うお金を決める
  - ・使うお金を分ける
  - ・使う物リストを作る
  - ・貯金用の別財布を作る
- 今の私に一番必要な力をつけるために取り組むこと
  - ・お金を分けて封筒や財布に入れる
  - ・親から貯金の仕方を教えてもらう

### 3 今後に向けて

生徒は、実習の振り返りから自分の課題を明らかにし、働き続けるために今の自分にどんな力が必要なのか、その力をつけるためにどうすればよいのかを真剣に考えました。人生の先輩からいただいたアドバイスや友達と話し合ったことから見つけた解決方法を今後実行していくことができるよう、進路面談でも確認し、就労に向けた支援につなげていきたいです。また、人生の先輩から学んだ前向きな考え方をこれからも大切にしていけるよう様々な学習場面で取り上げていきたいです。

第2学年 生単、総合、LHR、各教科の年間指導計画一覧表 ～教科等横断的な視点を大切に～

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
主な行事・学習活動等 RS.1.19発表		新任式・始業式・入学式(10) 生活安全教室Ⅰ(11) 生活安全教室Ⅱ(14) 新入生を迎える会(17) 運動訓練(22) 職業体験講習会(29)	運動会を成功させよう	3年卒業決意式(6) 3年前期実習(9～27) 1,2年卒業決意式(13) 1年校内実習,2年前期実習(16～27)	生活安全教室Ⅱ(11) 3年校内授業研 朝陽レク(15) 1年社会体験学習 3年社会人セミナーⅡ(22) 終業式(25)	始業式(26)	1年校内授業研(16) 1年職場見学(26) 防災訓練(19) 奉仕活動(30)
生単		運動会を成功させよう	働く力を高めよう (前期現場実習) 車椅子習・車椅子習			将来の生活を考えよう	働く力を高めよう (後期現場実習)
総合		自分の進路を考えよう① (職業体験講習会)	自分の進路を考えよう② (職場見学)				
国語		図書室利用について確認しよう 相手に分かりやすく伝えよう (他己紹介)	メモを活用しよう① テーマに沿って表現しよう① (運動会作文)	敬語を正しく使おう	読者に頼らう① (10分間読書) 目的に応じて書こう① (書き見直し) 話し合いをしよう①	着ける漢字を問やそう①	メモを活用しよう② 物語を読もう
数学		オリエンテーション (前期開校) 整頓のたし算・ひき算をしよう	整数の表し方を知ろう 模数で表そう	二つの数量の関係を 表そう (は割合)	二つの数量の関係を考えよう (速さ,時間,距離)	前期テストに向けて	数量の関係を表そう
音楽			表現を楽しもう			心を合わせて演奏しよう	
美術							
《給食》本給食～自分のおこがれや夢を描こう～							
保健体育		オリエンテーション 体づくり運動 記録を測定しよう (陸上競技:短距離走)	運動会練習をしよう 記録を測定しよう (陸上競技:長距離走,投てき)	キックベースボールをしよう (球技①:ベースボール型)	新体力テストをしよう (体づくり運動)	自分の体を知ろう (保健:熱中症予防,応急手当)	課題研究:健康を促すために (体育理論) レクリエーション (体づくり運動)
クラブ		クラブ・サービスクラスの仕事を知らう 本札の組通しに向けて準備をしよう アビリンピックに参加しよう	本札を完成させよう うちわとる刺をしよう①	うちわとる刺を作ろう② アビリンピックに参加しよう 働く力を高めよう(前期現場実習)	うちわとる刺を作ろう② アビリンピックに参加しよう	バザー製品と依頼の仕事に取り組もう①	バザー製品と依頼の仕事に取り組もう②
被服		被服部の仕事を知らう 基本の製品に取り組もう	本札を完成させよう	働く力を高めよう(前期現場実習)		着袋と結品しよう①	バザー製品に取り組もう
商業		商業部の仕事を知らう 商業部の仕事を覚えよう 本札を完成させよう		イオン三川バザーに向けて製品を作ろう 働く力を高めよう(前期現場実習)		立体物製品を作ろう	
清掃・福祉		清掃福祉部の仕事を知らう 清掃用具の使い方と片づけ方, 手順を覚えよう 本札を作ろう	校内清掃をしよう アビリンピックに参加しよう①	校内清掃をしよう① 働く力を高めよう(前期現場実習)	アビリンピックに参加しよう② 校内清掃をしよう①,② 青空散策を成功させよう		校内清掃をしよう② 小真木運動公園の清掃をしよう
家庭		投資調査 衣類の補修の技法を覚えよう①	衣類の補修の技法を覚えよう② 高齢者の生活を知らう	調理をしよう①	基本的な洗濯の手順を知らう		快適な住まい方を考えよう 計画的に買い物をしよう

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な行事・学習活動等 ※ RS.1.19現在	3年実習法意式(3) 3年後期実習(6~24) 1,2年実習法意式(8) 1,2年後期実習(9~24)	2年校内授業研 顕高養祭(29)	教育相談(2~19) 進学学習(4) 生活安全教室Ⅳ(16) 終業式(25)	3年祖祝学習(16) 1年顕高体験見学(16,23) 2年社会人セミナー(21) 3年社会人セミナーⅡ(22) 生徒会役員選挙(27)	生徒組合(2) 全校進路学習(10) 3年生を語る会(26)	3年社会人セミナーⅢ(3) 卒業式(12) 修了式(13)
生華	働く力を高めよう (後期朝陽実習) 事前学習・事後学習	学年発表を成功させよう (顕高養祭)	進学学習 生活安全教室Ⅳ (消費者教育)	フアイト学年修学旅行の旅(修学旅行)		
総合	自分の進路を考えよう3 (働き続けるために必要な力について考えよう～自立し、幸せに生きるために～)					
国語	メモを活用しよう2	話し合いをしよう2	テーマに沿って表現しよう2 (顕高養祭作文) 目的に応じて書くこと2 (年賀状)	書ける漢字を増やそう2 読書に親しもう2 正確に読み取ろう	短期に親しもう	ことわざを知ろう
数学	表とグラフにまともよう		平面図形の面積を求めよう 円の仕組みを知ろう	後期テスト	小数のかけ算・わり算をしよう	1年間のまとめをしよう
音楽	心を合わせて演奏しよう				いろいろな音楽に親しもう	
美術	《絵画・工芸》共同制作～砂絵～					
保健体育	バレーボール (球技②:ネット型)	リズムに合わせて踊ろう (ダンス)	バドミントンをしよう (球技③:ネット型)	運動やスポーツの効果・学び方・ 安全な行い方 (体育理論) 器械運動をしよう (器械運動:跳び箱、マット運動)	バスケットボールをしよう (球技④:ゴール型) 卓球をしよう (球技⑤:ネット型)	卓球をしよう (球技⑤:ネット型) 大切な体を守ろう (保健:大切な体)
職業	クラフト 顕高養祭バザーに向けて製品を作ろう 働く力を高めよう (後期朝陽実習)	顕高養祭バザーに向けて製品を作ろう 顕高養祭バザーをしよう	校外販売に行こう 本札の準備をしようⅠ	本札の準備をしようⅡ バザー製品に取り組もうⅠ	バザー製品に取り組もうⅡ 本札の仕上げをしよう 販売導入研修、1年間のまとめをしよう	一年間のまとめをしよう
	洗濯 働く力を高めよう (後期朝陽実習)	顕高養祭バザーに向けて製品を作ろう 顕高養祭バザーをしようⅠ		茶袋を納品しようⅡ	バザー製品を仕上げよう、本札を作るⅡ まとめの会をしよう	
	清掃・福祉 顕高養祭バザーに向けて製品を作ろう 働く力を高めよう (後期朝陽実習)	顕高養祭バザーに向けて製品を作ろう 顕高養祭バザーを成功させよう 校内清掃をしようⅢ 顕高養祭バザーを成功させよう	校内清掃をしようⅢ 清掃を引継ごう	卒業・修了製作に取り組もう、人系製品を作るⅠ 本札のやりがいをしよう、1年間のまとめをしよう	人系製品を作るⅡ	人系製品を作るⅡ
家庭	調理をしよう②	これからの家庭生活について考えよう		ミシンで作ろう		礼儀正しい接客時の対応を 考えよう

### 第3学年 総合的な探究の時間 授業案

令和7年7月14日（月） 6校時目

場 所：自立活動室

授業者：T1 工藤幸子 T2 佐藤直之 T3 木村初音  
(T4 古川武房 T5 池田明日美 T6 徳永瑞穂 T7 富樫結子)

1 単元名 「自分の進路を考えよう2」 社会人セミナーⅡ「居住地の関係機関を訪ねよう」  
～カラフル困った！さあ、どうする！？～

#### 2 単元目標

- (1) 社会人になってから起こりやすい課題について、自分なりの対処法を検討し友達と話し合い、  
考えを深めていく。 (学びに向かう力、人間性等)
- (2) 卒業後の生活をサポートしてくれる関係機関の特徴や利用の仕方に関する情報を知る。  
(知識・技能)
- (3) 質問を考えたり、自分たちで考えた対処法と教えていただいたことを照らし合わせたりして、  
卒業後のイメージを持つ。 (思考力・判断力・表現力等)

#### 3 単元について

本単元は、進路学習「社会人セミナーⅡ」に向けた学習単元である。卒業後に利用する関係機関のことを知ることで、将来の生活についてイメージを持ち、安心して将来を迎えられるように学習を行っていく。前期現場実習を終え、将来の働く姿もより具体的になってきているこの時期に行うことが効果的だと考える。

本単元は、働く生活の中で困ったことが起こった際に、落ち着いて自分で対処できる方法を身につけてほしいと願い設定した。困ったこと（課題）に対して自分に必要な対処法を考え、さらに友達と話し合いを重ね協働的な取り組みを通して考えを深め、よりよい生活・社会を実現しようとする態度を養うことをねらいとしている。また、自分で考えた対処法と友達が考えた対処法の違いを知ることや、話し合いを重ねて熟考した対処法を知ること、関係機関に行き情報を得ることなどの活動を通して新たな価値の創造につながることもねらっている。

単元の構成として、①関係機関について知る、②行動計画を立てる、③困った時の対処法について考え、話し合い、共有する、④見学後まとめる、という4つに分けて進めていく。③の話し合いでは、3グループに分けて生徒同士で話し合いを進めていく。これまでも話し合い活動は様々な単元で行ってきたが、意見を言う生徒に偏りがあったり、自分の意見を言い表すことが難しい生徒がいたりした。そのため、本単元では、付箋を使用することで全員が自分の意見を伝えやすい環境を設定する。また、意見を可視化することで、話し合う内容をわかりやすく、まとめやすくすることもねらっている。3グループで同じテーマについて話し合うことで、自分たちのグループでは出てこなかった意見を知り、多様な見方や考え方に気づくきっかけにしたい。

この単元を通して学んだことが、将来実際に困った場面に遭遇した際に、自分で考えて自分で行動することにつながることを目指したい。

#### 4 授業計画（17時間扱い 本時7／17）

時数	学習内容
1	ねらい、内容、日程を知る。訪問場所と担当教師を確認する。
3	訪問する場所、集合場所、集合時間の計画を立てる。
1	質問内容を考える。
2	グループで困った時の対処法を考える。
1	対処法についてシェアリングする。
1	訪問について最終確認をする。
6	社会人セミナーⅡ「居住地の関係機関を訪ねよう」
2	振り返りをする。学んだことをまとめ、発表する。

#### 5 本時の指導

##### (1) 目標

- ・社会人になってから起こりやすい課題について、自分なりに考えた対処法をグループの仲間に伝えたり友達の意見を聞いたりして、協力して話し合いを進める。 (学びに向かう力、人間性等)

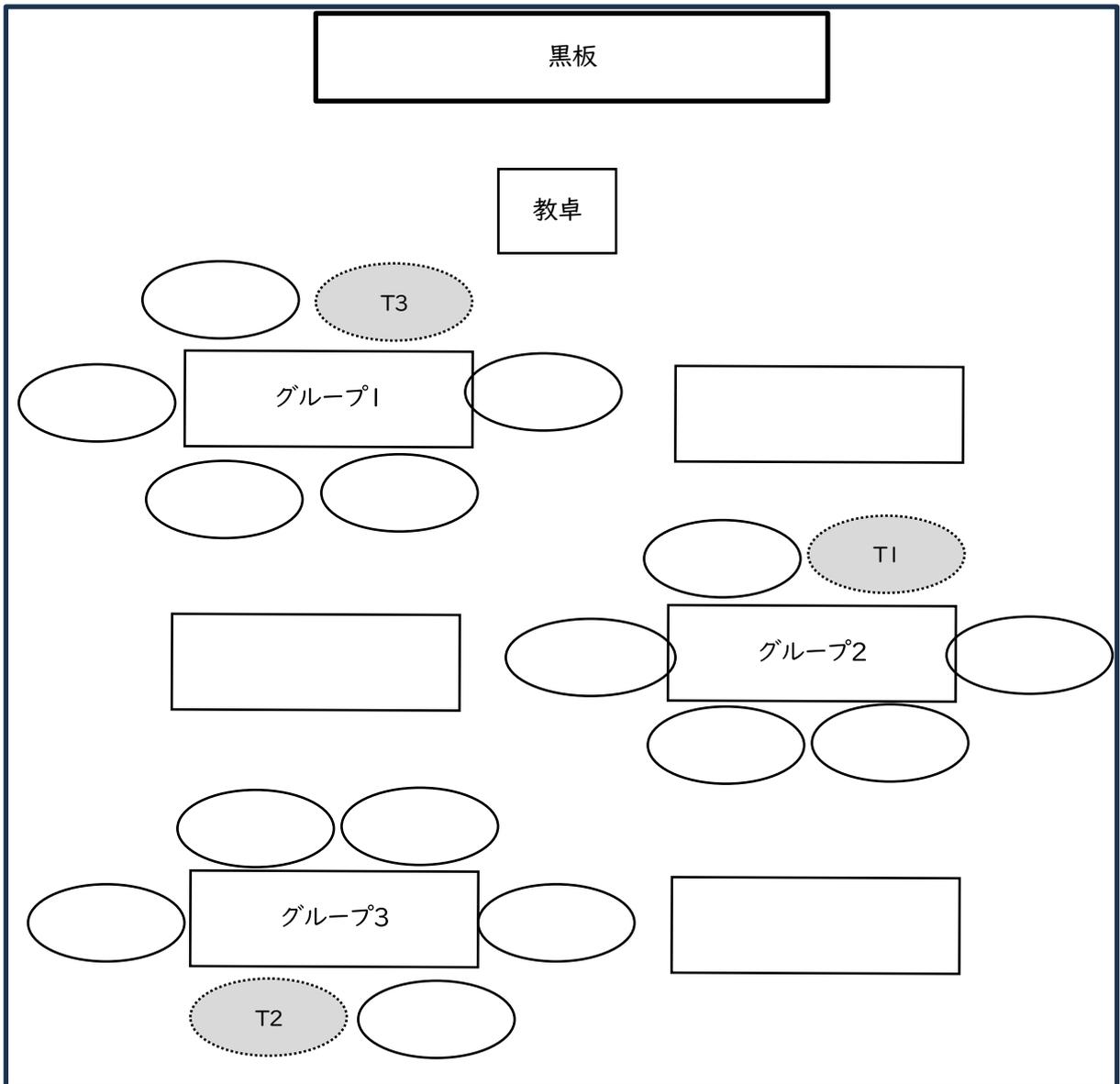
##### (2) 本時に関する個別目標と手だて

生徒	本時の個別目標	手だて
S・K女	・ファシリテーターのサポートをしたり話し合いの軌道修正をしたりして協力する。(学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に話し合いのルールややり方を説明する時間を設ける。</li> <li>・ルールについて掲示する。</li> <li>・話し合いが視覚化できるように、同じような意見の付箋をまとめるように指示する。</li> <li>・適宜気づきを促すように声かけをする。</li> </ul>
A・S男	・テーマに沿って考えた自分の意見を相手に伝える。(学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に話し合いのルールややり方を説明する時間を設ける。</li> <li>・ルールについて掲示する。</li> <li>・話し合いの中でも自分の考えを付箋に書く時間を設ける。</li> <li>・意見を伝えやすいように、付箋を出すタイミングを伝える。</li> </ul>
O・S男	・友達の意見を整理し話し合いを進める。(学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に話し合いのルールややり方を説明する時間を設ける。</li> <li>・ルールについて掲示する。</li> <li>・話し合いを進めやすいように、進め方について手元に進行表を準備する。</li> <li>・時間の配分ができるように、事前に話し合い終了時刻を伝えたり、終了5分前に教師が声かけしたりする。</li> </ul>

(3) 学習の流れ

時間	学習活動	支援上の留意点（・）評価（◆）
14:15	1 挨拶をする。	
14:15	2 3グループに分かれて話し合いをする  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           発問1            【〇〇なことが起こったとき、あなたはどうしますか？これについてグループで話し合いましょう。】         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの約束を再度確認する。</li> <li>・事前に考えた対処法を付箋に記入しておく。</li> <li>・ファシリテーターが話し合いを進める。</li> <li>・記録係が付箋をまとめたり、まとめの文を書いたりする。</li> <li>・大判用紙に発表しながら付箋を貼っていく。</li> <li>・考えが思いついた時には、その場で付箋に書いて発言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この発問により、自分が考えた対処法を発表したり、友達の考えを知ったりすることで、どの対処法がいいのか自分なりに考えることをねらう。</li> <li>・付箋を使った話し合いについて、事前にねらいや約束を確認する。</li> <li>・話し合いの前にファシリテーターと記録係を指名する。</li> <li>・話し合いが滞っていた際には、教師がサポートして考えが深まるように助言する。</li> <li>◆付箋を使用して自分の意見を発表できたかを評価する。主</li> <li>◆友達の意見を聞いて別の考えを発表できたかを評価する。主</li> </ul>
14:45	3 グループとしての考えをまとめる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           発問2            【グループとしての考えをまとめましょう。】         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループとしての対処法を1～2つにまとめる。</li> <li>・記録係が大判用紙にまとめた文章を書く。</li> <li>・ファシリテーターが発表者になることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この発問により、自分の考えと友達の考えの違いを知り、考えを深めていくことをねらう。</li> <li>・グループ内で協力し合って考えをまとめることをねらう。</li> <li>・ファシリテーターが次回の発表者になることを伝える。</li> <li>◆いろいろな考えがあることを知り、仲間と協力して意見をまとめようとしたか評価する。主</li> </ul>
15:00	4 次回の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回、グループごとに発表することを伝える。</li> <li>・大判用紙を回収する。</li> </ul>
15:05	5 挨拶をする。	

(4) 場の設定 (自立活動室)



### 3 学年 授業研究のまとめ

7月実施 校内授業研究会

#### I 視点Iの『総合的な探究の時間』における「発問」や「学習内容」の工夫について

##### (1) 成果

###### ①発問について

- ・話し合いに入る前に、話し合う際のルールを全体で確認したり、各グループに配布したまとめ用紙に記載したりしたことで、意見を受け入れる姿勢を保ちながら話し合いを進めることができた。
- ・多くの生徒が、働く生活を送っていく中で困った時にどのように対応するか、誰に相談するかを自分事として捉えて学習に取り組む姿が見られた。

###### ②学習内容の工夫について

- ・自分の意見を付箋に書いてから話し合いに入ったことで、全員が発言することができ参加しやすい環境で学習に取り組むことができた。
- ・意見を書いた付箋を貼ったことで、お互いの意見を常に確認しながらまとめることができた。
- ・各グループ、ファシリテーターとサポート役を決めたことで、生徒同士でお互いを助け合いながら学習に取り組む様子が見られた。

##### (2) 課題

###### ①発問について

- ・テーマについて、生徒全員で共有できず、「合わない」と「合わない」の意味の捉え違いをしてしまった生徒がいたため、全体で確認する時間を設けるとよかった。

###### ②学習内容の工夫について

- ・話し合いの中で、教師の適切な介入の仕方や頻度が難しかった。
- ・学習内容を難しいと感じている生徒に対して、補助発問や再度個別での説明が必要だった。

##### (3) 改善策

- ・発問する際、イメージが共有できるように、実習中の生活を思い出せるような言葉がけなど提示の仕方を工夫する。
- ・自分の意見をまとめる前に言葉の意味を全体で確認することで、生徒全員が共通認識のもと話し合いができるようになると思われる。
- ・授業などでの経験を増やし、ファシリテーターとサポート役を担える生徒を増やしていくことで、より生徒が主体となって話し合いができるようになることを考える。

## 3 学年 一年間のまとめ

### 1 視点2：総合的な探究の時間の年間指導計画の整理

#### (1) 成果

- ・年度当初に単元を取り扱う時期や学習内容について話し合いをし、他教科等や生徒の実態に合わせて計画を立てることができた。
- ・進路についての学習を総合的な探究の時間で扱っているが、3年間を通した段階的な指導になっている。1年生から学習を積み上げていく内容となっていた。

#### (2) 課題

- ・3年間を見通した系統性を持たせた学習計画で実施しているが、単元一つ一つの目標や内容をしっかりと確認せずに授業に取り組んでしまった。

#### (3) 改善策

- ・今後は、年間指導計画を再度見直し、単元目標や学習内容を把握し、目指す生徒像に近づけるようなよりよい授業づくりをしていく。

### 2 学年での学校研究への取り組み

#### (1) 成果

- ・目指す生徒像や各単元のねらい、学習内容についての話し合いを複数回行い、共通理解を図ったことで、生徒が「自ら気づき、考えて行動する」ための学習内容や発問の工夫をし、よりよい授業づくりを進めることができた。
- ・授業研前に学年で目指す生徒のイメージ像を共有できたことで、年間を通してねらいを明確にした授業に取り組むことができた。

#### (2) 課題

- ・学習を進める中で、学習課題の表現を指導者の意図とは違う受け止め方をする生徒がいた。新たな気づきではあったが、様々な反応を想定した準備が必要だった。

#### (3) 改善策

- ・学習内容を検討する際に、生徒の考えを引き出したり導いたりできるよう、生徒の実態から考えられる言動を想定して、あらかじめ補足説明や補助発問を用意しておく。

### 3 考察

- ・6月に、教師一人一人が考える目指す生徒像について共有し、学習内容や授業案を検討したことで、3学年の教師が同じ考えで授業に向かうことができた。
- ・進路実現が目前に迫った生徒たちが真剣に学習に取り組んだことで、より実践的な学習となり、深い学びにつながった。

# 研究だより

令和7年7月25日  
No. 1  
発行：鶴岡高等養護学校  
研究推進委員会

3学年 社会人セミナーⅡでの「話し合い」の取り組み  
～自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していく授業を目指して～

## 1 目指す生徒の姿を明確にする

3学年では、研究主題に迫るため、研究学年会で、①自分が思う「自ら気づき、考えて行動する生徒」と、②3年生として「自ら気づき、考えて行動する生徒」、の2つについてそれぞれ考え、イメージの共有を図りました。たくさんの意見が出て、新しい気づきがありました。

### 「自ら気づき、考えて行動する生徒」とはどんな生徒？

①自分の考え	②3学年だったら
目標達成のために考え、行動する。	自分の課題を理解して、解決しようとする。
自分からアドバイスを求める。	困っていることを理解し、改善しようとする。
自分から準備、必要なものを考える。	将来のイメージが持てる。
先を考える。	これまでの学習の経験を活かすことができる。
分かったことを次に活かす。	周囲を見て行動する。
自分の考えを相手に伝える。	何を知っておくべきかを知る。
	何をすべきかを考え、実行する。

## 2 単元前の話し合いをもとに全員で授業に臨む

この単元は、①居住地の様々な機関の利用法を知る、②困ったことがあった時の解決方法を考える、の2本立てでした。総合的な探究の時間の目標の「課題を発見し、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現し、新たな価値を創造すること」を再確認して学習を進めました。生徒が学習を自分事として捉え、できる限り自分の力で学習に取り組むことを目指し、学習内容の工夫をしたり、個々の生徒や想定される生徒の姿に対しての手だてを考えたりしました。

### 〈学習内容の工夫や手だての例〉

課題を自分事として捉えられるように、関係機関を訪ねる際の交通手段を自分の力で調べて、練習するようにした。

話し合いの際に、お互いの意見を可視化できるようにするために、付箋を用いた。

将来の生活のイメージが持ちにくい生徒には、実習中の生活を思い出せるような言葉がけをする。

## 3 単元の中心課題では

学習の中心の話し合い活動では、15名の生徒を3グループに分けました。グループの中でファシリテーター役やサポート役、自分の意見をしっかり伝えることが目的の生徒に役割分担をし、生徒それぞれの目指す姿が違うことを確認し、何ができるようにしてほしいかを共通理解しました。



## 〈ファシリテーター役〉

友だちの意見を整理し、話し合いを進めることができる生徒

⇒友達の意見を聞きながら話し合いを進めるが、自分の意見も伝える。

たくさんの意見をまとめカテゴリー別に整理し、話し合いの視点を明確にしながら進める。

## 〈サポート役〉

話し合いのサポートや軌道修正ができる生徒

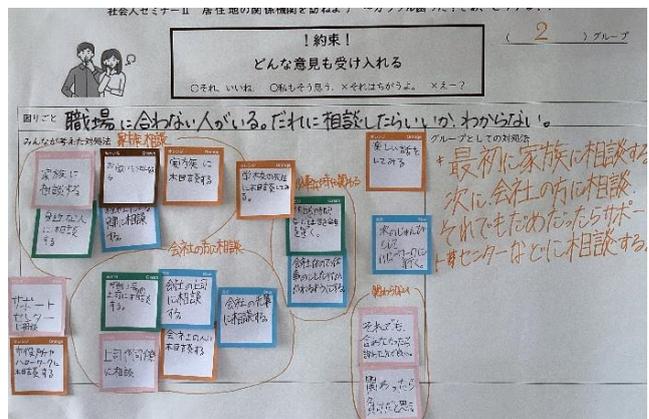
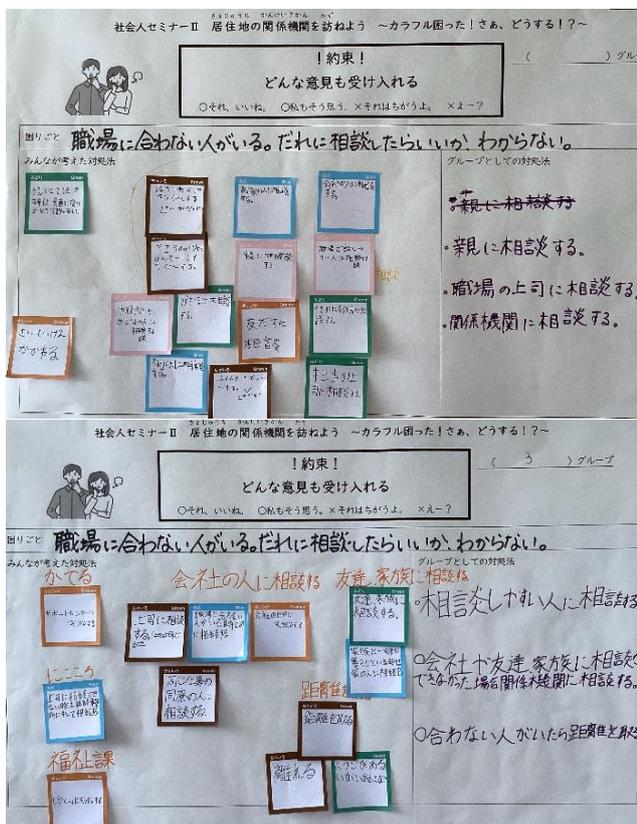
⇒友達の意見を聞きながら自分の意見を伝える。話し合いの論点がずれた時は、軌道修正して話し合いを戻しながらファシリテーターのサポートをする。

## 〈自分の意見をしっかり伝えることが目的の生徒〉

テーマに沿った自分の意見を相手に伝えることができる生徒

⇒話し合いのテーマについて自分なりの意見を持つ。自分の意見を相手に適切に伝える。グループの友達の意見を聞く。

## 〈生徒がまとめたワークシート〉



=== 事後研で話し合われたこと ===

- 友達の発言を聞いた後に自分の意見を取り下げた生徒がいる。⇒話し合いのルールを分かりやすく提示する。
- 話し合いの内容が難しいと感じている生徒がいる。⇒授業によって座席の工夫をする。
- 話し合いへの教師の適切な介入の仕方が難しい。⇒今後の授業で経験を積みながら、ファシリテーター役を担える生徒を増やし、教師の介入を減らせるようにする。
- 発問の「合わない人」を「合わない人」と認識した生徒がいた。⇒言葉の意味を確認し、全員が共通認識した上で授業を進める。

## 4 まとめ

今回の話し合い活動は、①目的を共有、②アイデアの発散、③アイデアの集束、④合意形成、

のプロセスを踏みながら進めました。この活動を通して、生徒が「自ら気づき、考えて行動する生徒」の姿に近づくことができたと感じています。また、総合的な探究の時間の目標にも近づくことができたと感じます。

目指す生徒の姿にさらに近づくことができるよう、これまでの取り組みをもとにより良い授業づくりをしていきたいと改めて感じています。

第3学年 生単、総合、LHR、各教科の年間指導計画一覧表 ～教科等横断的な視点を大切に～

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
主な行事・学習活動等 R8.1.19現在	新任式・始業式・入学式(10)	教育相談(13～30)	3年実習決意式(6)	生活安全教室Ⅲ(11)	1年校内授業研(16)	始業式(26)	1年校内授業研(16)
	生活安全教室Ⅰ(11)	勤高春大運動会(17)	3年前期実習(9～27)	3年校内授業研	1年職場見学(26)		1年職場見学(26)
	新生活安全教室Ⅱ(14)	3年求職受理相談(26)	1,2年実習決意式(13)	1年社会体験学習	防災訓練(19)		防災訓練(19)
	新入生を迎える会(17)	2年職場見学(30)	1年校内実習,2年前期実習(16～27)	1年社会人セミナーⅡ(22)	春任活動(30)		春任活動(30)
	遊程訓練(22)			終業式(25)			
生単	運動会を成功させよう	将来の生活を考えよう (求職受理相談)	働き続ける人になろう (前期現場実習) 事前学習・事後学習	働き続ける人になろう (前期現場実習) 事前学習・事後学習	働高養老を成功させよう (働高養老)		働き続ける人になろうⅡ (後期現場実習) 事前学習
総合	自分の進路を考えようⅠ (職業準備講習会)			自分の進路を考えようⅡ (社会人セミナーⅡ) 「居住地の関係機関を尋ねよう」			
国語	図書館の利用について確認しよう 課題の確認テストをしよう 詩を読もう、味わおう	情報を整理しよう ～聞き取って正確にメモしよう～ 運動会の作文を書こう	敬語を正しく使おう	書中見出しはがきを書こう 読書に親しもう 物語を読もう	課題の確認をしよう 詩を作ろう 履歴書を書こう		
数学	オリエンテーション (実態把握)	整数のかけ算・わり算をしよう	測定した結果を平均しよう		前期中テストに向けて		
音楽		表現を楽しもう(歌唱・身体表現)					
美術							
保健体育	オリエンテーション (体づくり運動) 短距離走をしよう(陸上競技)	運動会練習をしよう 記録を測定しよう (陸上競技)	キックベースボールをしよう (球技①:ベースボール型)	新体カテテストをしよう (体づくり運動) ストレスへの対処法を知らう ～欲求と適応規制～(保健)	ストレスへの対処法を知らう ～欲求と適応規制～(保健)		感染症とその予防(保健) 新体カテテストの結果を考察しよう (体育理論) バレーボールをしよう (球技②:ネット型)
クラフト	クラフトサービス報の仕事を知らう 木札の紐通しに向けて準備をしよう (種印) アビリンピックに参加しよう	木札を完成させよう うちわと名刺を作ろうⅠ	うちわと名刺を作ろうⅡ アビリンピックに参加しよう 働く力を高めよう(前期現場実習)	うちわと名刺を作ろうⅡ アビリンピックに参加しよう	バザー製品と依頼の仕事に取り組みようⅡ		
被服	被服報の仕事を知らう 基本の製品に取り組みよう	木札を完成させよう	働く力を高めよう(前期現場実習)		バザー製品に組み組みようⅠ		
職業	営業班の仕事を知らう 営業班の仕事を買えよう 木札を完成させよう	木札を完成させよう	働く力を高めよう(前期現場実習)				
清掃・福祉	清掃福祉報の仕事を知らう 清掃用具の使い方と片づけ方、 手順を買えよう 木札を作ろう	校内清掃をしようⅠ アビリンピックに参加しようⅠ	校内清掃をしようⅠ 働く力を高めよう(前期現場実習)	アビリンピックに参加しようⅡ 校内清掃をしようⅠ,Ⅱ 青空販売を成功させよう			校内清掃をしようⅡ 小真木原運動公園の清掃をしよう
家庭	授業聞き 調理をしよう(弁当)①	調理をしよう(弁当)②③④	子どもの世界と生活を知らう	子どもの世界と生活を知らう 家庭でやってみよう	非常時の生活を考えよう 計画的に買い物をしよう		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な行事・学習活動等 ⑧ R8.1.19現在	3年実習決闘式(3) 3年後期実習(6~24) 1,2年実習決闘式(8) 1,2年後期実習(9~24)	2年校内授業研 鶴高参祭(29)	教育相談(2~19) 選考学習(4) 生活安全教室Ⅳ(16) 終業式(25)	3年相模学習(16) 1年間身体発見学(16,23) 2年社会人セミナー(21) 3年社会人セミナーⅢ(22) 生徒会役員選挙(27)	生徒総会(2) 全校進路学習(10) 3年生を送る会(26)	3年社会人セミナーⅣ(3) 卒業式(12) 修了式(13)
生涯	働き続ける人になろうⅡ (後期現場実習)	鶴高参祭を成功させよう (鶴高参祭)	選挙学習 生活安全教室Ⅳ (消費者教育)	社会人のマナーを身につけようⅠ(社会人セミナーⅢ) 相模教室 生活安全教室Ⅴ(薬物乱用防止)	社会人のマナーを身につけようⅡ (社会人セミナーⅣ) 社会生活に向けて	卒業する姿を 見せよう
総合	自分の進路を学ぼう3 (全校進路学習「進路に伝えよう」)					
国語	履歴書を書く 話し合いをしよう	ことわざ・慣用句・故事成語を 知ろう	ことわざ・慣用句・故事成語を 知ろう 鶴高参祭の作文を書く わたしの物語を作ろう 年賀状を書く	わたしの物語を作ろう 読書に親しもう 状況説明をしよう	正確に読み取ろう	
数学	二つの数直線の関係を考えよう (割合)	立体図形の特徴を考えよう もののいちをを考えよう	分数のたし算・ひき算を 知ろう	後期テスト に向けて	計算に関して成り立つ性質を 知ろう 一年間のまとめをしよう	
音楽	心を合わせて演奏しよう(器楽・歌唱・創作)					
美術	《絵画》水彩画「現場実習で働く私」		《鑑賞》「アートフォーラム展を 鑑賞しよう」		卒業式をプロデュースしよう(鑑賞・歌唱)	
保健体育	バレーボールをしよう (球技②:ネット型) マット運動と跳び箱をしよう (器械運動)	マット運動と跳び箱をしよう (ダンス) 楽しく踊ろう	楽しく踊ろう (ダンス) バドミントンをしよう(球技③:ネット型) 感染症とその予防(保健)	医療機器の役割と利用 (保健)	バスケットボール (球技④:ゴール型)	
クラフト	働く力を高めよう (後期現場実習)	鶴高参祭バザーに向けて 製品を作ろう	校外販売に行こう 木札の準備をしようⅠ	木札の準備をしようⅡ バザー製品に取り組もうⅠ	バザー製品に取り組もうⅡ 木札の仕上げをしよう 販売購入研修、1年間のまとめを しよう	
制服	働く力を高めよう (後期現場実習)	働く力をしよう バザーをしよう		着姿を納品しようⅡ	バザー製品を仕上げよう、 木札を作ろうⅡ まとめの会をしよう	
職業	働く力を高めよう (後期現場実習)	鶴高参祭バザーに向けて 製品を作ろう	卒業・修了製作に取り組もう、 人気製品を作ろうⅠ 木札のやすりがけをしよう、 1年間のまとめを しよう			
清掃・福祉	鶴高参祭バザーに向けて 目標を決めよう 働く力を高めよう (後期現場実習)	校内清掃をしようⅢ 鶴高参祭バザーを成功させよう	校内清掃をしようⅢ 清掃を引き継ごう	清掃を引き継ごう 福祉施設で清掃をしよう	福祉施設で清掃をしよう 校内清掃をしようⅣ 販売購入研修を成功させよう 木札を作ろう、1年間を振り返ろう	
家庭	働く力を高めよう (後期現場実習)	ミシンで作ろうⅠ	ミシンで作ろうⅠ 家庭でやってみよう		ミシンで作ろうⅡ	